

# 生物多様性を守り育む「ひと」の活動

詳しくは本編へ！

第4章3

市内では、豊かな自然環境をフィールドとして、市民協働によるさまざまな活動が進んでいます。

※ページ数は本編掲載ページです。

## ● 森の保全活動



「青梅の森」の保全活動 (P.63)



森林ボランティア育成講座 (P.64)



森林ボランティア 森守会 (P.64)



青梅林業研究グループ (P.64)

## ● 水辺の活動



青梅・多摩川水辺のフォーラム(P.65)



奥多摩川友愛会 (P.65)



美しい多摩川フォーラム (P.65)



霞川くらしの楽校 (P.65)

## ● 生き物調査



生き物調査活動 (P.66)

## ● 環境学習



飛び出せ！サイノスズメ (P.66)

## ● 交流の場づくり・情報発信



おうめ環境フェア 野鳥観察会 (P.67)



おうめ環境フェア ワークショップ (P.67)

# さまざまな問題への対応が必要です

詳しくは本編へ！  
第5章

青梅市の生物多様性を未来につないでいく上では、さまざまな問題に対応する必要があります。

テーマ	主な問題	問題解決のために必要なこと
情報	生物多様性保全に向け、まだ明らかになっていない情報もあります。	生物多様性に関する情報を集め、自然環境の保全や市民への普及啓発に生かすことが必要です。
生息・生育地のつながり	生き物が安定して生息・生育するために必要な自然環境のつながりが、失われつつあります。	山地や丘陵地、水辺等の自然環境などの、広域的な環境のつながりに配慮することが必要です。
外来種・有害鳥獣	大型哺乳類等による森林被害や農業被害、外来種による在来種への影響などの問題が起こっています。	農林業や林床植生に被害を及ぼす有害鳥獣のほか、希少生物や人間生活に影響を及ぼす侵略的外来生物等への対策が必要です。
多様な自然環境	山・里・川・まちのそれぞれの環境において、生き物のすみかの減少などの環境の変化がみられます。	山・里・川・まちの多様な自然環境を守り育て、生かすことが必要です。
自然の恵み	私たちの暮らしは、自然の恵みを生かすことで豊かになることが十分に認識されておらず、まだ活用の余地があります。	自然環境のポテンシャルを最大限に引き出し、観光振興やまちづくりに積極的に生かし、次世代へ引き継ぐ必要があります。
市民の理解	生物多様性の意味や重要性について、市民の理解が十分に進んでいない状況にあります。	生物多様性の恩恵を市民一人一人が実感し、それらを未来につなげるための行動を起こすことが必要です。
協働のしくみ	市民団体の高齢化など、生物多様性を守り育てる活動の担い手が不足しています。	多様な主体の参加・協働のもとで、生物多様性を守り育て、生かす取組みを進めることが必要です。



## 将来像 ～このような将来の姿を目指しましょう！～ 詳しくは本編へ！ 第6章1

青梅市の生物多様性とその恵みを未来につなげる上で、目指す将来の姿は、以下のとおりです。この将来像は、2050年を見据えて、達成を目指します。

# 山・里・川・まち

～自然の恵みを守り、活かし、みんな未来につなぐまち青梅～

- 青梅市の多様な自然環境を、「山・里・川・まち」として強調し、「多様な自然環境からの恵み」を皆で守っていくことをイメージしています。
- 自然の恵みにあふれ、皆がその恵みを実感するとともに、より豊かな生物多様性の恵みを、未来に引き継いでいくことを表現しています。
- この将来像が、多様な主体が目指すまちの姿を共有する羅針盤となることで、オール青梅による取組みが進むことを目指します。

## 5つの目標 詳しくは本編へ！ 第6章2

将来像の達成に向けて、5つの目標を定めます。

- 1 自然や生き物の情報を継続的に把握し、取組みの実施効果や課題を関係主体で共有し、次の取組みに活かしています。
- 2 わたしたちの暮らしや多様な生き物の命を支える、山・里・川・まちの自然環境を守り、育んでいます。
- 3 農林業、観光、文化・芸術、教育、レクリエーションなど、暮らしのあらゆる場面で、生物多様性の恵みが活かされ、多くの人とその恩恵を受けています。
- 4 市内外の多くの人々が青梅市の自然や生き物について正しい知識を持ち、その魅力を感じ、生物多様性の保全・活用の大切さを実感しています。
- 5 多くの主体が生物多様性の重要性を認識し、みんなが一丸となって生物多様性の保全・活用に取組んでいます。

# このような取組みを進めます 詳しくは本編へ！ 第7章

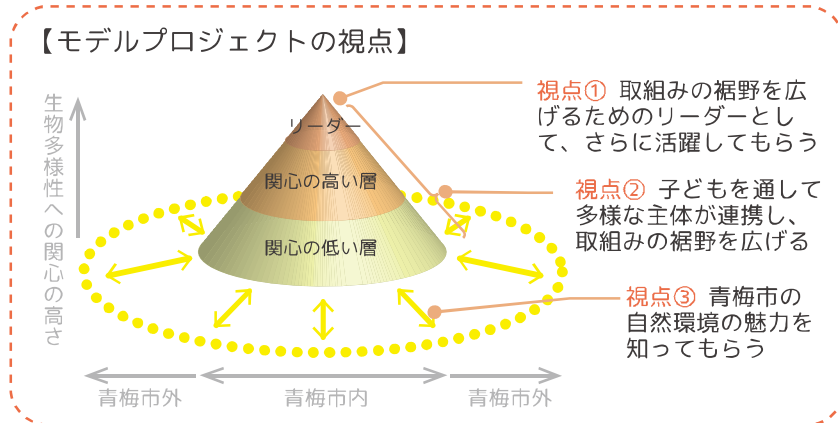
将来の姿の実現に向けて、以下のような方向性で取組みを進めます。



# モデルプロジェクト

詳しくは本編へ！  
第8章

「青梅ひとと生き物イキイキプラン」のうち、環境や生き物に興味をもってもらう・知ってもらう取組みを、モデルプロジェクトとして紹介します。



## 【目標】

「生物多様性」という言葉とその意味を理解している市民の割合

現状（2015年）

約 **3割**

目標（2027年）

**5割以上**

## 1 おうめ生物多様性リーダー活躍プロジェクト（視点①に対応）

生物多様性に関する専門知識を持つ方や、生物多様性に関連する活動を実践されている方（＝リーダー）から、生物多様性の魅力や楽しさを多くの市民に発信してもらうことで、市民の活動全体が活性化することを目指します。

### 始まっています！リーダーの活躍！

みんなで楽しく鳥の観察！

あらい えつこ

**荒井悦子さん（日本野鳥の会奥多摩支部）**

「おうめ環境フェスタ」などの野鳥観察会で、講師としてご活躍されています。子どもたちの観察会では、いつも大人気！



野鳥の観察。望遠鏡の先にみえるのは…？

ムササビ親子のすめる森をめざして

くまがい

**熊谷さとしさん（青梅の森いきものネットワーク）**

青梅の森に生息するムササビの調査、観察会などを通して、広く自然の大切さを伝える活動をされています。



青梅の森の巣箱に、ムササビの親子がすんでくれました！

ホタルのことをもっと知ろう！

いのう えつとむ

**井上務さん（日本ホタルの会）**

ホタルや身近な生き物の調査、保全活動の支援のほか、ホタルや里山についての情報を分かりやすく発信しています。



ホタル博士が、ホタルの光るしくみを解説中！

有機農業を通して循環型社会づくり

やながわ たかつぐ

**柳川貴嗣さん（ヤナガワファーム）**

有機野菜の栽培とともに、生ごみ堆肥の活用を実践し、循環型の農業に取り組まれています。



優秀な農業後継者として期待されています！

### こんな姿を目指します！

- リーダーの活躍の場が広がり、リーダーと一緒に生物多様性の恵みを楽しむ市民が増えています。
- リーダーの活躍によって新たなリーダーが育ち、市民の活動がさらに活性化しています。



楽しそうな取組みがたくさん！  
参加するためにはどうしたらいいの？

「おうめ環境フェスタ」や、講座・観察会などに  
参加してみてもいいかな。開催日時など詳細は、  
市の広報やホームページでチェックしよう。



## 2 おうめ環境キッズ育成プロジェクト (視点②に対応)

幅広い世代・多様な分野の関係者が連携して、エコキッズの活躍・育成のための機会の充実に取り組むことで、未来の担い手である子どもたちに、青梅市の自然や環境に興味を持ってもらい、次世代の生物多様性リーダーを担う人を増やすことを目指します。

### 始まっています！青梅の将来を担う元気なキッズの取組み！

#### 愛鳥モデル校（河辺小学校）

総合的な学習の時間や休み時間に、鳥の観察を通して、子どもたちが青梅の自然について進んで学んでいます。



総合的な学習の時間に、多摩川で鳥の観察！

#### こどもエコクラブ

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。クッキングやクラフトなどで、楽しく環境について学んでいます。



地球温暖化防止のために、みんなで打ち水！

#### こんな姿を目指します！

- 子どもを通して幅広い世代・多様な分野の関係者が連携し、家庭・学校・地域へと生物多様性保全の取組みの輪が広がり、地域が一丸となって取り組む機運が高まっています。

## 3 おうめの環境の魅力発信プロジェクト (視点③に対応)

登山や自然体験を求めて市外から多くの人を訪れる本市の強みを生かして、青梅市の生物多様性の恵みの魅力を発信することで、市内外の多くの人に、青梅市の生物多様性を守り育て、生かすための応援団になってもらうことを目指します。

### 青梅市を訪れる人たち～青梅のファンを増やしていこう！

#### 季節の花や生き物の観賞

吉野梅郷梅まつり、塩船観音寺つつじまつり、みたけ山レンゲショウマまつり、吹上花しょうぶまつり、蛍を見るタベ、カンタンを聞く会など、季節の花や生き物を楽しむ多くのイベントがあります。



梅の公園



レンゲショウマまつり

#### 自然環境を生かしたレジャー・スポーツ

御岳山や高水三山をはじめとした山々での登山や森林浴を楽しみに、多くの観光客が訪れています。丘陵地ではハイキングやキャンプ、多摩川ではカヌー、釣り、散策等が楽しまれています。



御岳山 ハイキング



多摩川 釣り

#### こんな姿を目指します！

- 青梅市内外の人が、さまざまな場面で青梅市の生物多様性の恵みや魅力を実感しています。
- 市外の応援団の力も加わって、青梅市の生物多様性保全の取組みがさらに活発になっています。



**リサイクル適性** (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

